

# 景気動向調査

## 業況感、一部改善傾向を示すも予断許さず

令和2年10～12月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和2年10～12月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率70.5%

### 【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

### 管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲44.2で前回(2020年7月～9月)より7.3ポイント改善。

建設業を除く、その他産業の業況DI値で改善傾向を示しましたが、コロナウイルスの終息が見えず、今後も予断を許さない状況が続く見通しです。

全産業売上高の推移：前回(R2年7月～9月)▲56.8ポイントから9.7ポイント改善し▲47.1ポイントとなりました。

サービス業▲62.5ポイント、消費者ニーズへの対応が課題として多く挙げられました。

全産業資金繰りの動向：前回(R2年7月～9月)▲29.2ポイントから10.2ポイント改善し▲19ポイントとなりました。

建設業3.6ポイントと改善傾向を示しました。

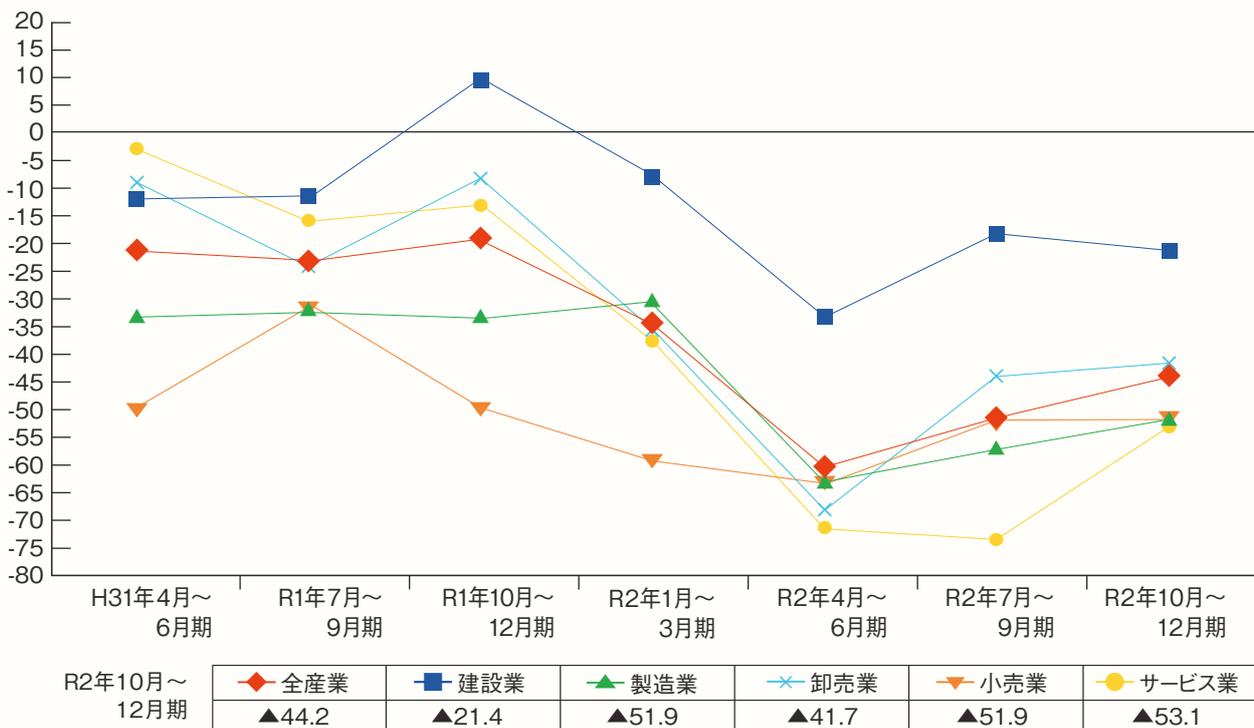
全産業採算の動向：前回(R2年7月～9月)▲51.8ポイントから11.2ポイント改善し▲40.6ポイントとなりました。

全産業、依然としてコロナウイルスへの対応が課題として挙げられました。

全産業雇用人員の動向：前回(R2年7月～9月)▲7.0ポイントから2.1ポイント減少し▲9.1ポイントとなりました。

小売業▲20.8ポイントと人手不足感が強まりました。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000